



# 名古屋城 子ども博士になろう



がくしゅう  
学習シート3

## 一本丸御殿は、なぜ豪華なのでしょう

えど しょうぐん むか  
江戸の将軍をお迎えする  
しゆくはく しせつ  
宿泊施設として  
つか  
使われました



しゆくはく  
で宿泊するにあたり、その前まえに上洛殿じょうらくでん、  
くろき しょういん ゆどのしょういん あら  
黒木書院、湯殿書院などが、新たにつ  
くられました。将軍しょうぐんが宿泊する施設しせつなの  
で、とても豪華ごうかで美しく、お城建築うつくの最しるけんちく  
高傑作こうけさくと呼ばれていました。

なご やじょうほんまる ごてん おわりはんしゅ  
名古屋城本丸御殿は、尾張藩主の  
す ほんせいじ おこな ぼしよ  
住まいかつ藩の政治を行う場所として、  
1615年ねん（慶長20）に建てられました。

ねん げん な ほんしゅ す  
1620年（元和6）、藩主の住まいと  
せいじ ば にのまるごてん うつ  
政治の場が二之丸御殿に移ってからは、  
しょうぐん しゆくはくせんよう しせつ  
将軍の宿泊専用の施設となりました。

ねん かんえい えどばくふ だい  
1634年（寛永11）、江戸幕府3代  
しょうぐん とくがわいえみつ きょうと む とちゅう  
将軍・徳川家光が京都へ向かう途中

1930年（昭和5）に、天守といっしょ  
こくほう してい  
に国宝に指定されましたが、1945年  
しょうわ なご やだいくしゅう も  
（昭和20）の名古屋大空襲で燃えてし  
まいました。しかし、も まえ しゃしん  
すめん のこ  
図面が残っていたので、2018年  
へいせい どうじ すがた ふくげん  
（平成30）、当時のままの姿に復元す  
ることができました。

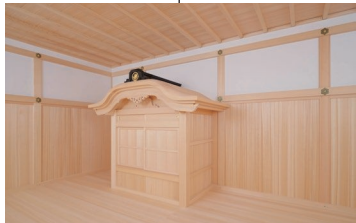
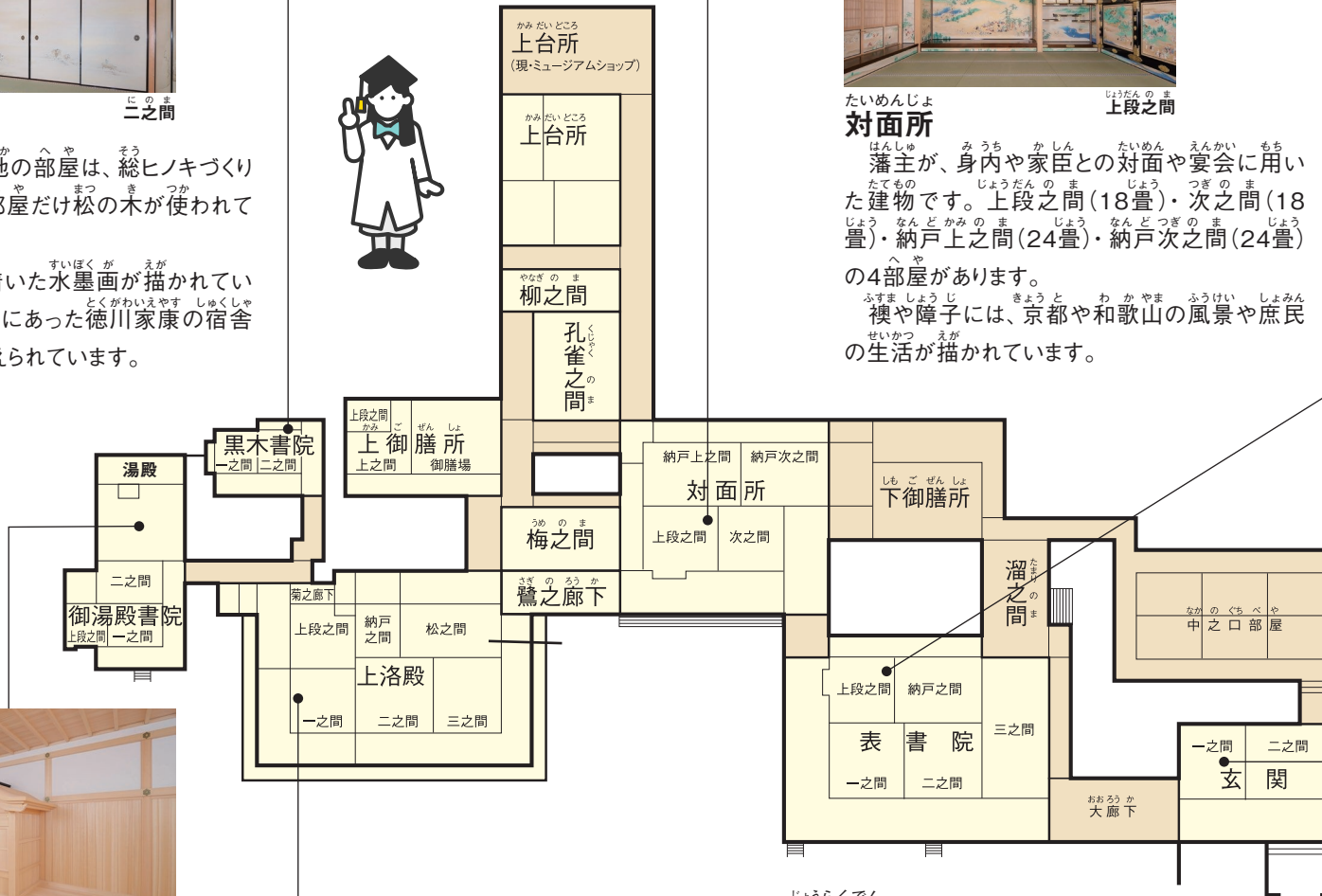




くろきしよいん  
**黒木書院**  
 二之間

本丸御殿の他の部屋は、総ヒノキづくりでしたが、この部屋だけ松の木が使われています。

襖には落ち着いた水墨画が描かれています。清須城内にあった徳川家康の宿舎を移築したと伝えられています。



おゆどのしよいん  
**御湯殿書院**  
 湯殿

将軍専用のお風呂です。現在の湯舟はなく、床下にある釜で湯をわかし、湯気を送り込むサウナ式の蒸風呂でした。浴室(湯殿)の他に、上段之間・一之間・二之間の3部屋があります。



たいめんじよ  
**対面所**  
 上段之間

藩主が、身内や家臣との対面や宴会に用いた建物です。上段之間(18畳)・次之間(18畳)・納戸上之間(24畳)・納戸次之間(24畳)の4部屋があります。

襖や障子には、京都や和歌山の風景や庶民の生活が描かれています。



おもてしよいん  
**表書院**  
 上段之間

本丸御殿の客間です。上段之間(15畳)・一之間(24畳半)・二之間(24畳半)・三之間(39畳)・納戸之間(24畳)の5部屋があります。上段之間には藩主が座りました。襖や障子には、花、鳥、小動物が描かれています。



げんかん  
**玄関**  
 一之間

本丸御殿を訪れた人が、まず通される待合室です。玄関といっても、一之間(18畳)・二之間(28畳)の2部屋からなっています。壁や襖には、竹林と勇ましい虎や豹が描かれています。



じょうらくでん  
**上洛殿**  
 一之間

江戸幕府3代将軍・徳川家光の宿泊に際し、増築されました。上段之間(15畳)・一之間(18畳)・二之間(22畳)・三之間(21畳)・松之間(20畳)・納戸之間(10畳)の6部屋からなっています。

彫刻欄間や天井板絵など、本丸御殿の中で最も豪華な建物です。

# くら 比べてみよう！



ほんまるごてん なか ある たてもの へ や ふすま え てんじょうらんま かなぐ ちが  
 本丸御殿の中を歩くと、建物(部屋)ごとに襖絵や天井、欄間、金具が違うことに  
 きつ 気付きます。それは、それぞれの建物が、「権威と格式(身分や家柄、上下関係)」  
 あ 合わせて、つか かわ たが ちが 違っていたからです。襖や壁の絵、天井、欄間、金具など  
 くら を比べながら、かくたてもの やくわり かんが を考えてみましょう。

## てん じょう 天井



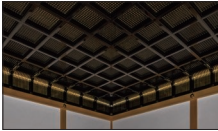
さおぶちてんじょうげんかん  
 竿縁天井(玄関)



ごうてんじょうおもてしよいん  
 格天井(表書院)



おりあ ごくみごうてんじょうおもてしよいん  
 折上げ小組格天井(表書院)



くろうしめりおりあ ごくみごうてん  
 黒漆塗折上げ小組格天  
 井(対面所)



くろうしめりにじゅうおりあ ごくみ  
 黒漆塗二重折上げ小組  
 格天井(対面所)



くろうしめりかなぐつきごうてんじょう  
 黒漆塗金具付格天井  
 (上洛殿)



くろうしめりにじゅうおりあ まきえ  
 黒漆塗二重折上げ時縁  
 付格天井(上洛殿)

## らん ま 欄間



さやらんま げんかん おもてしよいん  
 鞘欄間(玄関・表書院)



おさらんま げんかん おもてしよいん  
 箴欄間(玄関・表書院)



はならんま おもてしよいん  
 花欄間(表書院)



はなざまこうしらんまじょうらくでん  
 花狭間格子欄間(上洛殿)



おたくらんま じょうらくでん  
 彫刻欄間(上洛殿)

## かな ぐ 金具



ばいかなぐ ろうか  
 俵金具(廊下)



くぎかく げんかん  
 釘隠し(玄関)



くぎかく さぎの ろうか  
 釘隠し(鶯之廊下)



くぎかく じょうらくでん  
 釘隠し(上洛殿)



ひきてかなぐ げんかん  
 引手金具(玄関)



ひきてかなぐおもてしよいん  
 引手金具(表書院)



ひきてかなぐ たいめんじよ  
 引手金具(対面所)



ひきてかなぐじょうらくでん  
 引手金具(上洛殿)